

2022年5月30日
東京電力ホールディングス株式会社
福島復興本社

福島復興本社における
賠償・環境再生・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

- 原子力損害賠償の進捗状況 _____ 1 ～ 2
- 福島復興に向けた取り組み _____ 3 ～ 7

原子力損害賠償の進捗状況について

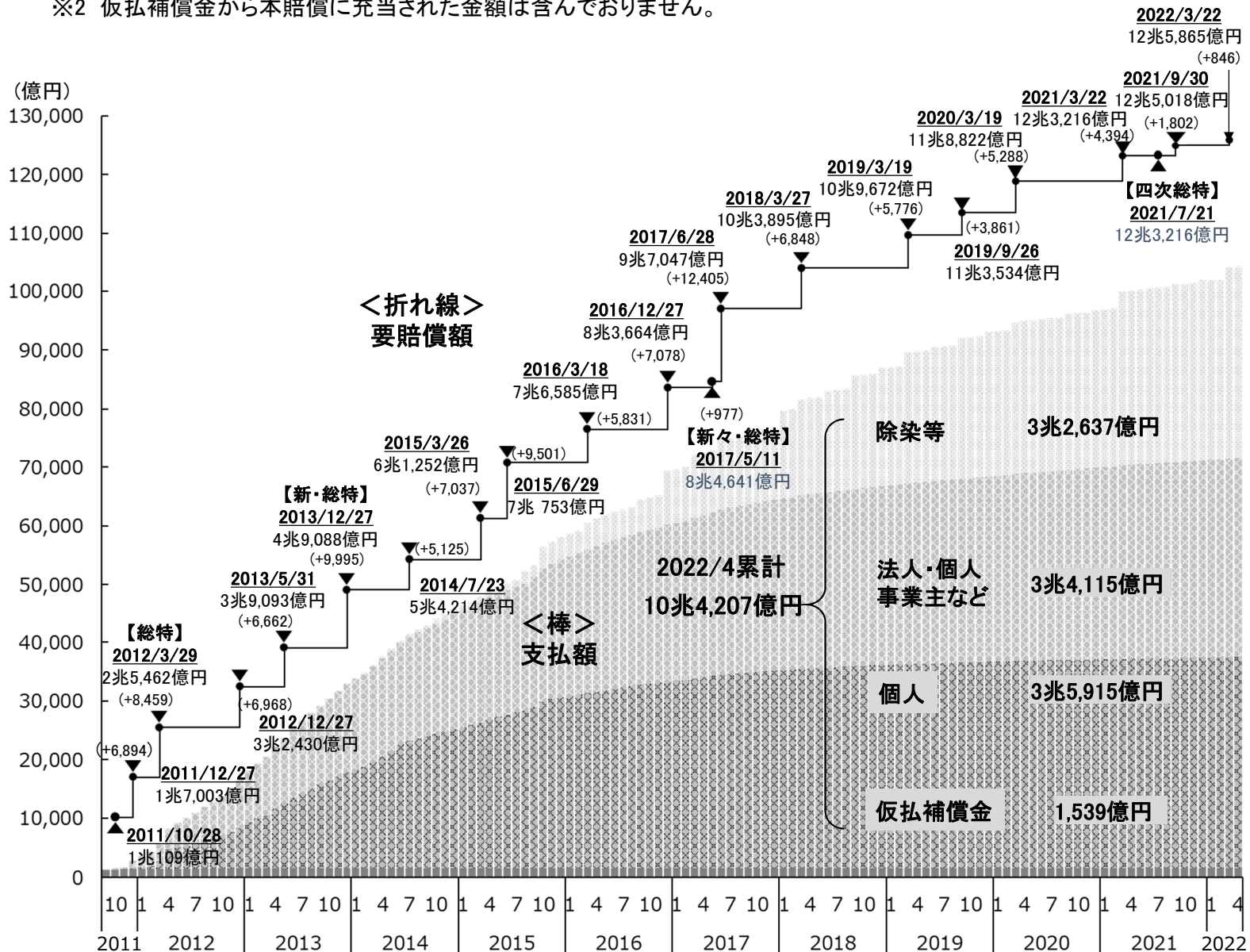
<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

2022年4月30日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,450,000件	約537,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,312,000件	約460,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆5,915億円	約6兆6,753億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2		約10兆2,668億円 ①
仮払補償金		約1,539億円 ②
お支払い総額		約10兆4,207億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (2022年3月22日資金援助額変更申請)	合意いただけの実績 ^{※1} (2022年4月末現在)
I. 個人の方に係る項目	20,834億円	20,096億円
検査費用等	3,493億円	2,820億円
精神的損害	10,995億円	10,944億円
自主的避難等	3,624億円	3,624億円
就労不能損害	2,721億円	2,706億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	33,057億円	31,717億円
営業損害	5,594億円	5,491億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	19,526億円	19,151億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,320億円	2,613億円
間接損害等その他	4,617億円	4,460億円
III. 共通・その他	22,484億円	19,758億円
財物価値の喪失又は減少等	15,447億円	14,721億円
住居確保損害	6,787億円	4,786億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等^{※2}	49,488億円	32,637億円
合計	125,865億円	104,209億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 83%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 (精神的損害・就労不能等に伴う損害・検査費用・避難・帰宅、一時立入費用・生命、身体的損害等)	9月:法人本賠償 (営業損害・出荷制限指示等による損害・風評被害・間接損害等)
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償、家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償、仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償、自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

<ADRの対応状況>

2022年5月2日現在

申立件数	28,004件
解決件数	27,011件
全部和解件数	21,553件
取下げ件数	3,063件
打切り件数	2,393件
却下・和解の仲介をしない	2件
現在進行中の件数	993件

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは27,917件(4月28日現在)、月平均で約110件(2022年)

※現在進行中の件数のうち、18件は一部和解が成立している

※和解金額は約3,429億円

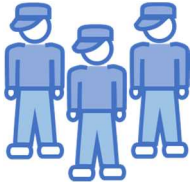
出典:原子力損害賠償紛争解決センターHPより

福島復興へ向けた取り組み

福島復興へ向けた取り組み実績

■ 2022年4月までの実績

環境再生・復興推進活動



活動人数
1,047,987人
(前月比+4,980人)

復興本社設立(2013年1月)からの累計

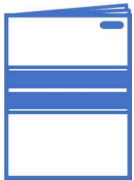
環境再生・復興推進活動



対応件数
864件/年度※

※2022年度の累計

原子力損害賠償



賠償お支払総額
約 10兆4,207億円
(前月比+97億円)

流通促進活動



イベント開催日数※
16,648日
(前月比+243日)

ふくしま流通促進室発足(2018年2月)からの累計
※イベント開催・・・試食販売会・飲食店フェア等

■ 環境再生・復興推進活動の業務別割合



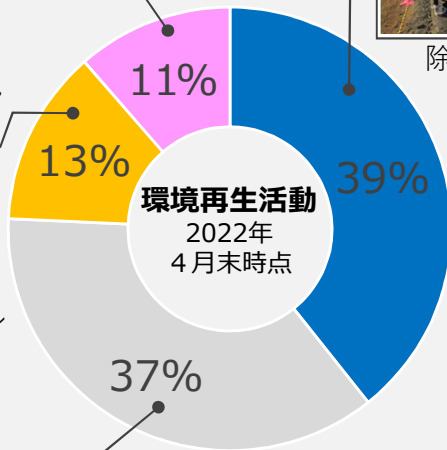
環境回復・コミュニケーション



廃棄物・リサイクル



中間貯蔵



除染



イベント対応



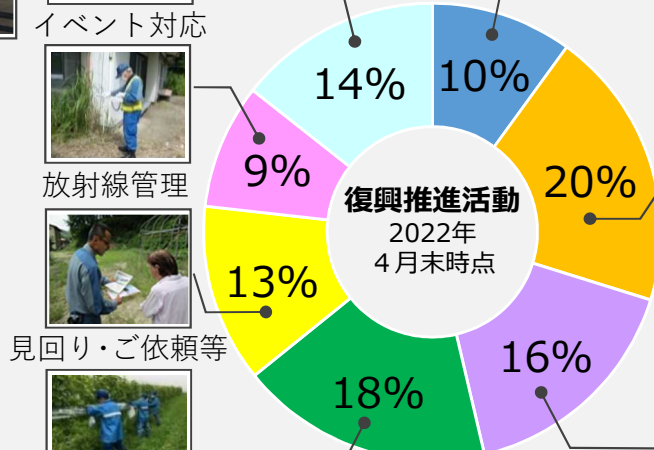
放射線管理



見回り・ご依頼等



営農再開



清掃・片付け



除草



一時帰宅対応

■ 今後の主な活動予定

〔凡例〕〔環〕・・・環境再生活動 【復】・・・復興推進活動 【流】・・・流通促進活動 【他】・・・その他

【復】6月地域行事・イベントへの協力

【流】6月の福島県産品販売会の主な開催予定(①～②)

〔首都圏・他〕

- ① ECキャンペーン「ふくしま市場」 6月1日(水)～8月31日(水)
- ② 富士ガーデン ビーンズ赤羽店 6月10日(金)～6月12日(日)

福島復興へ向けた取り組み①

葛尾村 避難指示解除に向けたお手伝い

取組内容

- 2021年11月の葛尾村の準備宿泊開始に伴い、当社保有の個人線量計の貸し出しを実施しました。
- 2022年3月、住民の皆さまの個人線量計のデータ分析を行い、測定結果を葛尾村へ報告しました。

個人線量計の貸し出しと報告の対応

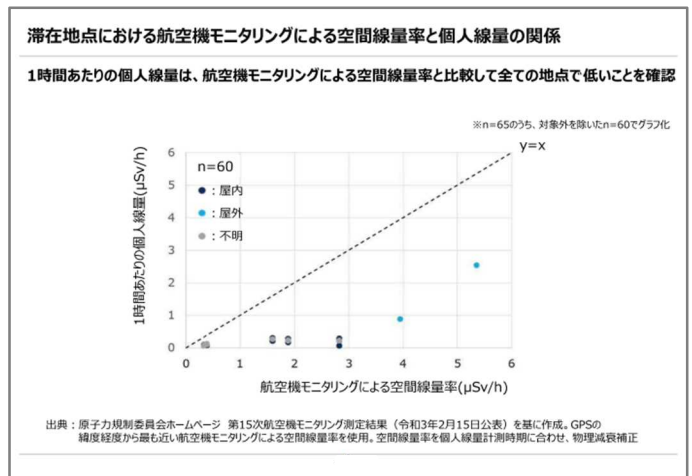
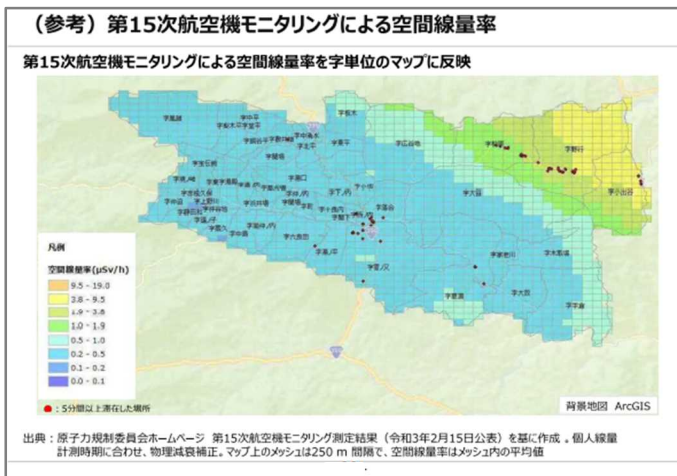
- 貸出日：2021年12月8日（3台）
- 貸出期間：2021年12月8日～2022年6月末予定
- ・当社保有の個人線量計(GPS含む)について、準備宿泊を希望される住民の方へ貸出。
- ・住民説明会の開催に合わせ、当社で測定結果の取り纏めを行い、測定結果報告書を葛尾村へ提出。



葛尾村による住民説明会の内容

- 2022年5月15日、葛尾村の避難指示解除に向けた住民説明会で、「測定結果から一日および年間の積算線量の推定値を算出しても、国の避難指示解除の基準を十分に下回る低い値であること」を葛尾村が説明しました。

<第3回除染検証委員会資料(抜粋)>



出典：葛尾村HP 第3回除染検証委員会について
<https://www.katsurao.org/soshiki/21/josenkenshou3.html>

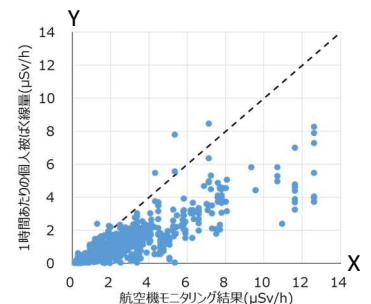
<参考：過去の当社社員による測定結果>

個人線量計の測定結果と航空機モニタリングの関係について

計測した範囲において、1時間あたりの個人被ばく線量のデータのほとんどは、航空機モニタリング結果と比較して下回っていることを浜通り地域で確認

- : 2020.3～2021.1における当社社員401人分の個人被ばく線量データのうち、同じ場所に5分間以上滞在したと判断できるデータ数(n=2,115)
- : 1時間あたりの個人被ばく線量(Y)と航空機モニタリング結果(X)が同じ値となるラインを破線にて表示

個人線量計にて計測した「1時間あたりの個人被ばく線量」を縦軸(Y)とし、同じ場所の「航空機モニタリング結果」の関係を横軸(X)として、グラフに示す



- 個人線量計の計測結果は、今後ご帰還等の判断材料のひとつとしてお役立ていただけるよう引き続き各自治体へ提供してまいります。
- 今後も福島県内の個人被ばく線量の実態を詳細に把握しお伝えすることで、地域の皆さまのご不安解消に繋がるよう取り組んでまいります。

福島復興へ向けた取り組み②

大熊町における営農再開に向けた取り組み

取組内容

- 大熊町のご依頼により、町の営農再開に向けた取り組みに対し、お手伝いを行いました。
- 大熊町内で開催されるイベント用のサツマイモ栽培に向けた肥料散布や水稻栽培のお手伝いを行いました。

サツマイモ栽培のお手伝い【2022年4月】



薬剤散布機での肥料散布



手作業での肥料散布

水稻栽培のお手伝い【2022年5月】



獣害対策用の金網設置



田植え後の様子

- 今回の取り組みを通じて、帰還された方の営農再開の一助となるよう、今後もお手伝いを行ってまいります。

福島復興へ向けた取り組み③



福島県産品の流通促進の取り組み
～お米・牛肉・水産品などのイベント開催～

■食べて 贈って ふくしまの桃・イッピンまつり2022(6/1～8/31)

- お中元シーズンや桃が旬になるこの時期に合わせ、福島県産品通販サイト「ふくしま市場」と連携してキャンペーンを実施します。
- 期間中、ふくしま市場の商品が最大30%OFFで購入できるほか、アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で1,000名様へ、福島県産品の桃・福島牛・水産品をプレゼントいたします。



販売商品(イメージ)

キャンペーン特設サイト→
※販売は6/1(水)10:00開始



キャンペーン特設サイト(イメージ)

■ SAKANA & JAPAN FESTIVAL in 万博記念公園(5/27～29)

初開催



- 万博記念公園(大阪府吹田市)において“常磐もの”のPRイベントを開催しました。
- “常磐もの”を使用した9種類のメニュー1万食以上を販売しました。
- 来場者様からは「福島が大好きでポーポー焼きを目的に来場した」、出店者様からは「関西圏で福島県の魚の美味しさをPRできて嬉しい」とのコメントをいただき、関西の皆さまに福島県産食材の美味しさや魅力をお伝えすることが出来ました。

関西圏でも『常磐もの』
メニュー大好評!!



会場の様子



常磐もの海鮮丼 全部のせメガ盛り



常磐ものイカスミのパエリア



ほっき飯



小名浜さんまの塩焼き

福島復興へ向けた取り組み④



福島県産品の流通促進の取り組み
～お米・牛肉・水産品などのイベント開催（4、5月実績）～

■道の駅ふくしまイベント(4/27)

- “道の駅ふくしま”のグランドオープンに合わせ、キッチンカー等で“常磐もの”をはじめとするメニューを販売しました。
- 出店者様からは「多くの方に福島県産食材を食べていただくことができ大変嬉しい」とのコメントをいただきました。



キッチンカー出店様子



しらすハーブピザ



イカのぼっぼ焼き

■四季の里キャンプイベント(5/21～22)

- キッチンカーを活用し、福島県産食材を使用したメニュー販売や福島県産品マルシェを実施しました。
- キャンプ宿泊をされる方には“常磐もの”の詰め合わせセットをプレゼントし「さんまのポーポー焼きは吸い物にして、メヒカリの開きは焼いて食べて、大変美味しかった」等のコメントをいただきました。



イベント会場(フードエリア)



宿泊者限定プレゼント

■小田急百貨店新宿店フェア(5/4～10)

- レストラン13店舗、食品街2店舗において、福島県産品フェアを開催しました。
- フェア以外にも、今秋全線運転再開予定のJR只見線のPRブース設置や、特設ステージでのフラダンスショーなどを実施しました。
- レストランフロアには、約1万2千人が来場され、福島県産食材の美味しさや魅力をPRしました。



抽選会場での只見線PR動画放映



食品売り場の様子

■リオン・ドールフェア(5/13～16)

- リオン・ドール様69店舗において、福島県産品(水産品、青果品、加工品)の販売フェアを開催しました。
- 複数の店舗様より「このような取り組みは大切」、「地場産品は良く売れている」とのコメントをいただきました。



地場野菜コーナー(矢吹店)



フラダンスショー



右: 只見線キャラクター「キハちゃん」
左: 「発見! ふくしま」公式キャラクター「めっけちゃん」



加工品コーナー(磐梯店)



水産品コーナー(美里店)